

新たな挑戦
ケミトロニクス事業

Chemitronics



株式会社オリジン

証券コード: 6513

2022年3月期
連結決算説明資料
2022年5月24日



執行役員
ケミトロニクス事業部長
岡部 敬三

カーボンニュートラルでも塗装

新たなる挑戦

Chemitronics



CO2削減強化に向けて塗料技術を活かしカーボンニュートラルへ貢献

塗料技術を活かす

環境負荷低減技術

速硬化

高塗着効率

『塗る』よろこびとうれしさ

意匠性の向上

超高輝度

テクスチャー付与

塗料業界の 動向



- ・ 2020年10月、日本政府「2050年カーボンニュートラル」を宣言→CO2削減の指向が急速に強化
- ・ オリジンは、カーボンニュートラルへの貢献に向けて、2030年に、自社分のCO2排出量を50%削減（2015年基準）する中期削減目標を設定



環境負荷低減および高い意匠性技術を活かしてカーボンニュートラルの貢献をめざす

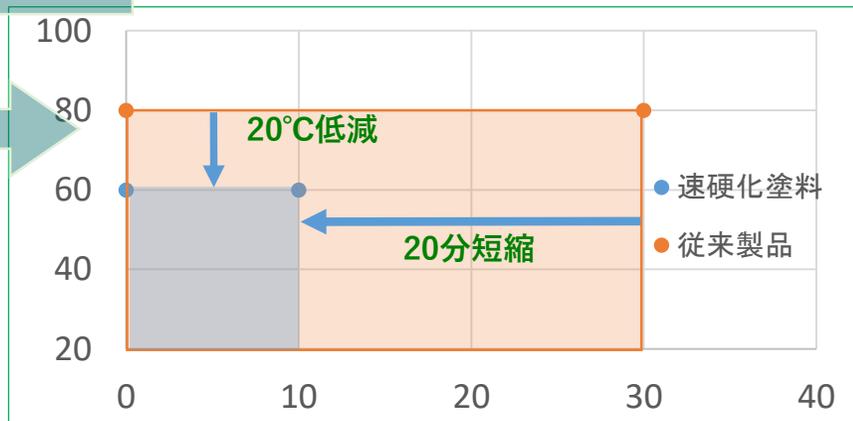
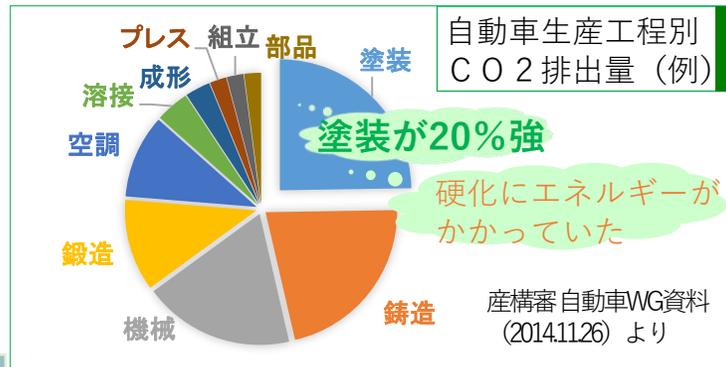


速硬化

外観と性能は同じ！

乾燥時間が従来の1/3に！

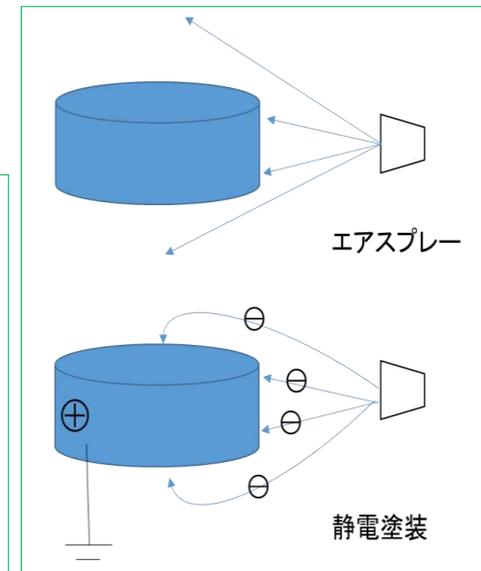
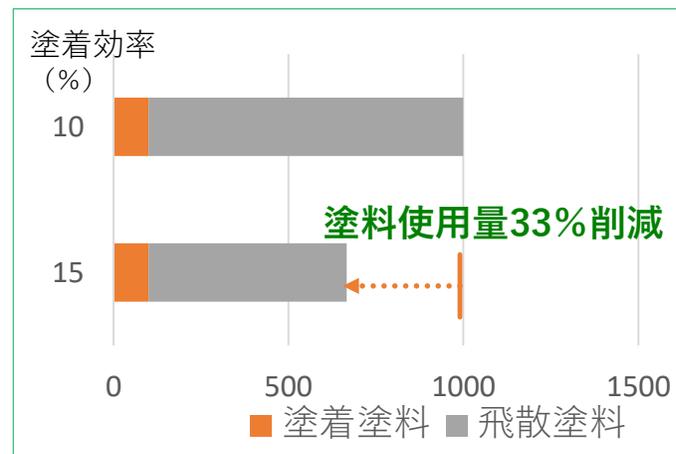
乾燥温度と時間
80°C × 30分
↓
60°C × 10分



- ・ 塗装で発生するCO2の多くは塗膜硬化時の加熱によるものであるが、プラスチック塗装で最も硬化エネルギーを要するピアノブラックで大幅な削減
- ・ 従来80°C × 30分の乾燥が必要だったものを60°C × 10分で同外観・同性能を達成
- ・ カーボンニュートラルにより引き合いが増えている

高塗着効率

塗着効率の悪い複雑形状の素材で塗料の使用量が30%以上削減可能に！



日本塗料工業会資料 参照

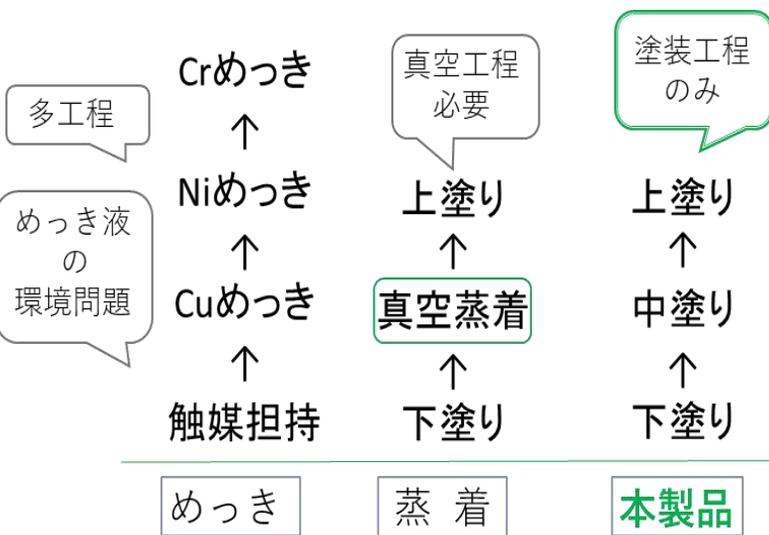
- ・ 塗料の電気抵抗値を最適化することで、導電性のないプラスチックに導電プライマー無しで静電塗装対応が可能
- ・ 塗着効率の悪い複雑形状の素材で塗着効率10%から15%に改善したとすると、塗料の使用量が30%以上削減可能
- ・ 環境およびコスト削減を目的として10年以上の実績



超高輝度

塗装工程のみで蒸着やめっきに匹敵する金属調意匠！

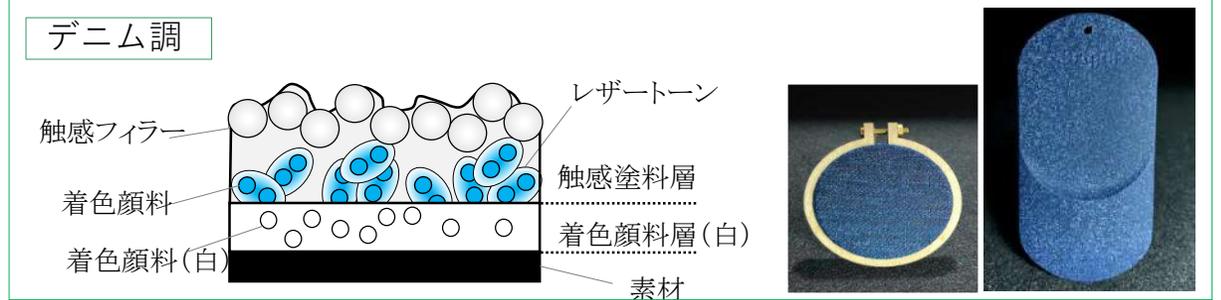
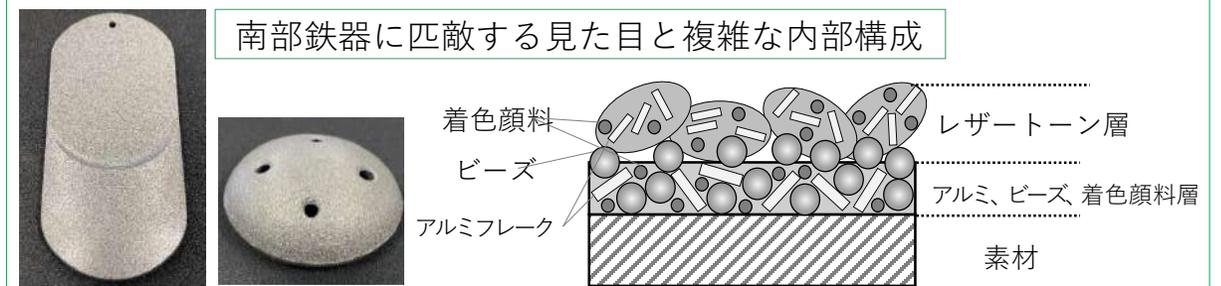
プラスチックへの金属感付与工法の比較



- ・従来のメタリック塗装とは異なる粒子感の無い、めっきや蒸着に匹敵する金属調意匠を達成
- ・塗装工程もシンプルで、めっきに含まれる環境問題や蒸着のように真空工程を必要としない

テクスチャー付与

特殊塗料×塗装方法による上質な質感×テクスチャーを有する意匠を提供



- ・特殊な塗料と塗装方法の組み合わせで、塗装ならではのテクスチャーを有する意匠を提供
- ・上質な質感と多様化するニーズへの対応が可能で、店舗の壁紙など、塗装の枠組みを超えた引き合い



株式会社オリジン